

第2回 横浜市中スポーツセンター指定管理者選定委員会会議録	
日 時	平成27年8月21日(金)午後1時30分～午後4時30分
開催場所	中区役所本館6階 602会議室
出席者	馬場進一郎委員長、近藤恵子委員、野澤誠一委員、古本悦子委員、松澤秀夫委員(計5名)
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(傍聴者なし)
議 題	1 面接審査 2 指定候補者の選定
決定事項	1 会議の公開・非公開について 面接審査を公開とし、審議を非公開とすること 2 指定候補者の選定について 指定候補者は、公益財団法人横浜市体育協会とすること 次点候補者は、ビルネット・日本リコメンド共同事業体とすること
議 事	<p>1 面接審査</p> <p>(1) ビルネット・日本リコメンド共同事業体</p> <p>ア プレゼンテーション(15分)</p> <p>応募団体から、団体概要・事業計画等について説明</p> <p>イ 質疑応答(20分)</p> <p>(委員)開館時間の延長は、地域特性・周辺環境等を調査したうえでの提案か。</p> <p>(団体)社会人がスポーツをする環境を整えるため、平日の開館時間延長を提案した。実施は、事前に自治会等と話し合ったうえで行いたい。</p> <p>(委員)スポーツセンター周辺の住民から、開館時間延長について反対があったのだが、そのことについてはどのように考えているか。</p> <p>(団体)収支計画は、開館時間延長を前提に試算しているが、開館時間を現状維持とする場合でも、収支計画上は問題ないと考えているので、地域の住民の方々を第一に考えていく。</p> <p>(委員)高齢者用のトレーニングマシンを導入するとあるが、どのようなものか。</p> <p>(団体)7～8年経過している古いエアロバイクの入れ替えを検討している。有酸素運動系のマシンなので、高齢者の利用が見込まれる。</p> <p>(委員)株式会社ビルネットの定款にはスポーツ関連業務がないのだが、共同事業体の設立経緯はどのようになっているのか。</p> <p>(団体)これまで、日本リコメンド株式会社が株式会社ビルネットにコンサルティングという形で関わってきており、このたび共同事業体を結成することになった。</p> <p>(委員)横浜市はウォーキング、中区はラジオ体操に力を入れている。提案書には、ウォーキング・ラジオ体操に関する提案がないようだが、考えているか。</p> <p>(団体)提案書には具体的に記載していないが、検討している。利用者から強い</p>

	<p>要望があれば、積極的に新しいものを取り入れていく。</p> <p>(委員) 心拍数が測れる時計等、様々な新しい備品の購入を考えているようだが、利用料金に転嫁されるのか。</p> <p>(団体) 利用料金は現行のままとし、備品費として予算内で購入する。</p> <p>(委員) イベント開催時の駐車場、駐輪場の確保、混雑緩和策について、どのように考えているか。</p> <p>(団体) 告知の段階で来場者に公共交通機関の利用を喚起するとともに、人を配置し駐輪場の整理等を行うことを検討している。臨時バスの運行について、バス会社と協議することも考える。また、巡回バスの運行を施設が行うこともできると思う。</p> <p>(委員) 吊り天井工事期間中に人員を削減する提案がなされているが、運営に支障はないのか。</p> <p>(団体) 中区と協議したうえで実施する。</p> <p>(委員) 吊り天井工事により第1・2体育室を閉鎖することで、第3体育室の利用が増加する可能性があるが、どのように考えているか。</p> <p>(団体) 第3体育室で実施しているものを研修室で実施することも検討したい。</p> <p>(委員) 横浜市のスポーツ振興を考慮しつつ利用者を拡大するための方策について確認したい。</p> <p>(団体) 提案した内容は、それぞれ横浜市スポーツ推進計画に沿ったものとなっている。また、子ども向けスポーツ教室と母親向け教室を同時開催するなどにより、今までスポーツができなかった方たちを取り込むことによって利用者の増加を見込んでいる。</p> <p>(委員) アルバイトの採用、教育に対する考え方を確認したい。</p> <p>(団体) 地元の方の採用を考えている。採用したスタッフに対しては様々な研修を実施する。</p> <p>(2) BSC・SFS共同事業体</p> <p>ア プレゼンテーション(15分)</p> <p>応募団体から、団体概要・事業計画等について説明</p> <p>イ 質疑応答(20分)</p> <p>(委員) スポーツ教室の指導者・講師について、どのように考えているか。</p> <p>(団体) 自社からの派遣、また、中区・横浜市体育協会に指導員の派遣を依頼する。</p> <p>(委員) 託児システムについて、どのように考えているか。また、託児による部屋の稼働率の低下についてはどのように考えているか。</p> <p>(団体) 託児による部屋の稼働率の低下については、考慮済みである。子どもがいるからスポーツができないということがないようにしたい。</p> <p>(委員) 開館時間の延長は、地域特性・周辺環境等を調査したうえでの提案か。</p> <p>(団体) 調査はしていない。開館時間の延長は、立派な施設の有効活用と早朝・夜間しか時間のない社会人へのスポーツの機会の提供を考えて提案した。実施にあ</p>
--	---

たっては、地域の方に相談しに行く。

(委員)送迎バスの運行について、具体的に説明してほしい。

(団体)南区にある自社から送迎バスを出す。送迎バスの運行により、交通渋滞の緩和にもなると考えている。

(委員)貧困の子供たち向けに一定の無料枠を設定するとあるが、その分収入が減少するのではないか。

(団体)試算済みであり、問題ないと考えている。

(委員)公共施設の指定管理業務と会社の本来業務の両立は難しいのではないか。

(団体)指定管理業務は、地域への貢献と考えており、利益を上げることは考えていない。

(委員)武道を取り入れた場合の施設改修、武具の貸出しについてどのように考えているか。

(団体)要望があれば、剣道を始めるためのとっかかりとして武具を提供することも考えたい。

(委員)提案書に大人向け教室の例が記載されているが、これは中スポーツセンターを想定したものか。

(団体)市内の多くのスポーツセンターで行われているニーズがあるものを載せている。

(委員)提案書掲載の大人向け教室の実施時間は昼間だが、対象年齢層は。また、社会人向けの教室は考えているか。

(団体)主婦や仕事をしていない方を想定している。社会人向けには、提案書に掲載している大人向け教室を朝、昼、夜と実施したい。

(3) 公益財団法人横浜市体育協会

ア プレゼンテーション(15分)

応募団体から、団体概要・事業計画等について説明

イ 質疑応答(20分)

(委員)現行のスポーツ教室参加費についてどのように考えているか。利用者の中には高いと感じている人の声を聞いている。

(団体)他都市と比較しており、安いと認識している。また、1回あたりの参加費は安いですが、連続回数を一括でお支払いいただくので、高く感じるのではないかと。委員の意見を参考にするとともに、今後は、無料イベントの開催についてもPRしたい。

(委員)団体の財務状況について、当期収支予算額がマイナスになっているが、その原因と今後の対応について、どのように考えているか。

(団体)現在、管理運営している神奈川スケートリンクが老朽化により取り壊し、建設中である。また、仮設のスケートリンクを営業しているが開館時間が短いため、売上が減少しており、それらが原因と考えている。平成27年12月に開館するので、来々期以降は収支が改善する見込みである。

(委員) スポーツセンターの使用料金を値上げする予定はあるか。

(団体) 施設の使用料金は、条例で決まっているため据え置きである。スポーツ教室の参加費については、消費税が増税されたため、今後、適切な転嫁を検討したいと考えている。値上げによる利用者の減少が考えられるが、これまで利用のなかった方をスポーツセンターに呼ぶ取組を実施し、利用者を拡大していきたい。

(委員) 参加費を据え置きにして、消費税増税分を利用者増で賄うことはできないか。

(団体) 利用者が増えるとは支出も増えるため、支出を勘案しながら検討したい。

(委員) 中スポーツセンターのトイレについて、洋式を増やす意向はあるか。

(団体) 修繕費の中で対応したい。

(委員) 幼児向けスポーツ教室について、何か考えているか。

(団体) 土曜日に若い世代が気軽に参加できる親子向け教室の実施を検討していく。また、区では子供の体力向上に力を入れているので、保育園や小学校に出向いて、遊びや運動を通した子供の体力向上への取組を拡充していきたい。

(委員) 開館時間の延長について、どのように考えているか。

(団体) 地域あつての施設だと考えているので、地域の意見を聞きながら検討したい。

(委員) 自動販売機が設置されているが、年間どのくらいの売り上げがあるのか。

(団体) 年間200万円程度となっている。

(委員) 施設内では、どのような物品を販売しているのか。

(団体) これまで卓球のボール等の消耗品を販売していたが、今後はウェアやサプリメント等の販売を拡充していく。

(委員) 正味財産増減予算書の報償費の使途と委託費との違いについて確認したい。

(団体) 報償費は、主に講師に対する謝金である。団体に指導を依頼する場合は委託費から支出している。

(委員) 年間の利用団体数はどのくらいか。また、団体間の利用調整はうまくできているか。定期利用を希望する団体から苦情が寄せられることはあるか。

(団体) 中スポーツセンターに限定した利用団体数は把握していないが、年間累計約1万団体となっている。市全体では、定期的に利用したいという声はいただいているが、中スポーツセンターはフットサル以外では地域の方の利用が多く、地区センターの体育室を利用される方もいるため、特に苦情はない。

(委員) 横浜市民スポーツ意識調査の結果の活用方法について確認したい。

(団体) 年1回インターネットによるアンケート調査を実施している。調査では、過去1年間に行った運動・今後取り組みたい運動のいずれもウォーキングが1位であり、女性ではヨガ・ピラティスが上位であり、スポーツ教室の内容に生

	<p>かしている。</p> <p>(委員)なぜウォーキングが人気なのかということについては調査しているか。</p> <p>(団体)していない。</p> <p>(委員)ウォーキング以外にも楽しめるスポーツがあるということを伝えてもらいたい。また、データを根拠とした提案があった方が分かりやすい。</p> <p>2 応募団体の財務状況及び資格要件の照会結果について報告</p> <p>事務局から、すべての応募団体について、市税納付状況の確認、及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、税理士による財務状況審査の結果、すべての応募団体が指定管理期間中の施設の管理運営に支障はないと判断された旨を報告した。</p> <p>3 指定候補者の選定</p> <p>委員による採点を集計し、平均点を算出した結果、次のとおりとすることを決定した。なお、すべての応募団体が最低評価基準を満たしていた。</p> <p>指定候補者は、公益財団法人横浜市体育協会(平均点:92.6点)とする。</p> <p>次点候補者は、ビルネット・日本リコmend共同事業体(平均点:81.4点)とする。</p> <p>なお、第3順位の候補者は、BSC・SFS共同事業体(平均点:80.4点)となった。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>なし</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>